

■ 各指標の現状（9月29日現在）

指標	現状 (9月29日現在)	警戒度
新規感染者数（直近1週間）	26人	感染拡大注意
新規感染者数 (直近1週間と先週1週間の比率)	0.8	感染観察
感染経路不明割合（直近1週間）	46.2%	感染厳重注意
検査陽性率（直近1週間）	1.7%	感染観察
病床の稼働率	17.3%	感染拡大注意
重症病床の稼働率	2.4%	感染観察
確保病床数・宿泊療養室数に対する 療養者数の割合	8.2%	感染観察

■ 現在の行動基準の対応レベル

警戒度は感染拡大注意レベルです。

【参考】各警戒度の状況（イメージ）

- 特定警戒：感染者数がさらに拡大しており、深刻な医療提供体制の機能不全を招くリスクが高いため、警戒が必要な状態
- 感染厳重注意：感染者数が急増しており、病床ひっ迫のリスクが高いため、より強い注意が必要な状態
- 感染拡大注意：感染者数が拡大傾向にあり、感染経路を特定（推定）できない者の増加や複数のクラスター発生、病床ひっ迫のリスクが高まっているため注意が必要な状態
- 感染観察：感染者の発生は散発的であり、クラスターが発生した場合でも感染経路を特定（推定）できており、病床にも余裕があるため、引き続き観察を行う状態